### ハーモニー通信 No.20号











編集・発行:男女共同参画あきたF・F推進員、大潟村 2023.10発行

## 合本版 ジェンダー・ギャップ指数

世界経済フォーラムのジェンダー・ギャップ指数とほぼ同様の手法で「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数(https://digital.kyodonews.jp/gender2023/)」の公表があった。これは、男女平等度を政治、行政、教育、経済の4分野について、都道府県別に分析したものである。

秋田県の全国順位は、政治10位、行政28位、教育35位、経済29位だった。

指数の公表は昨年に続き2回目。ランキングが改善した分野もある一方、指標を見ると男女比が同じものはほとんどなく、以前男女間の格差は大きい。

教育分野は大学進学率の比重が高くなっているが、秋田県の女子の大学進学率は37.0%と全国最低で、全国平均を10.7ポイント下回った。男子は41.0%で全国ワースト2位。小学校長は138人に対し、女性が36人で約4分の1にとどまった。

政治分野では、知事、市町村長ともに女性がおらず、これらの項目の順位は全国最下位。 市町村議は女性が43人で男性(382人)の約9分の1全国38位だった。女性議員がいない 「女性ゼロ議会」は4議会ある。

大潟村では現在、女性議員は2人であるが、女性の声がもっと政治に反映されるようにと 8月1日に女性模擬議会を開催した。12名が参加し、6名が質問した。女性議員が育つよう 期待できる模擬議会となった。

自分は政治に詳しくないからとか、自分には能力がないからとか、今の自分は勉強不足だからと考えていてはいつまでたっても行動を起こせず、社会を変えることが困難になる。「政治分野の男女共同参画推進法」施行から5年が経ち、クォーター制の導入も考えられるが、男性が履いてきた見えないげたを脱がせる社会作りが必要だと考えられる。暮らしと政治は密着しているのだから。

# **全性模擬議会が開催されました**

8月1日(火)に大潟村婦人会主催の「女性模擬議会」が開催されました。

女性模擬議会議員として12名が参加され、ジェンダー平等や子育て支援、移住定住促進など様々な分野について一般質問を行い、活発な議論が交わされました。

今回、女性模擬議会に参加された皆様の感想をご紹介します。

#### 《藤村 幸さん》

議長という大切な役割をお任せ頂き、発言される方々の緊張や迫力の表情を間近で見させていただきました。春から準備されてきたご苦労やどれだけ真剣に向き合ってきたかが伝わり胸が熱くなりました。村の女性は美しく芯があり強くて優しい。今回感じた、正直な感想です。パワーだけではなくスキルを上げまた皆さんと別の場でお会いできたら嬉しいです。素敵な思い出となりました。本当にありがとうございました。

### 《川原 真理子さん》

今回の話をいただいた時は、正直面倒なことになってしまったと思っていましたが、実際に参加してみて、議会の流れを疑似体験できたことはとても勉強になりました。

今回の質問者さんたちの質問は同じ女性として、母として、妻として、共感するものが多く、女性ならではの視点でもあると思いました。模擬議会とはいえ、まずは問題提起することが大事なのだと改めて思いましたし、村づくり懇談会など普段思っている疑問を率直にぶつけられる機会があることはとてもありがたいことだと思いました。

今後も定期的に開催してほしいと思うのと、今回の近藤さんの質問を聞いて、もっと若い世代の意見も聞いてみたいと思いました。

#### 《武石 万里子さん》

- 全ての関係者が笑顔で終えられ、達成感を感じることができた女性模擬議会であったなというのが率直な感想です。
- ・計画段階では声をかけても断られることもあり、女性が発言することすらハードルが高く感じられた。
- ・議長が常に笑顔で、つられて模擬議員も笑顔になり、議場全体が明るくなった。このような雰囲気であれば通常の議会も傍聴する側としても来やすいと思った。
- ・現状女性議員が 2 人しかおらず、模擬議会での質問を聞いて、子育て世代の議員の必要性を強く感じた。当事者、もしくは当事者に思いを馳せられる同性の議員は一定数必要だと感じた。
- ・パネルなどの活用で質問がより想像しやすくなり、あのアイデアは今後活かされていって欲しいと思った。

#### 《齋藤 友美さん》

模擬議会にお誘いいただいた当初、てっきり傍聴へ行くのだと思っていました。大潟村へ移住してきて2年余、まだまだ新参者の自分が、まさか模擬議員で質問をするとは想定外でエーッと慌てましたが、終わってみればとても有意義で楽しい時間を過ごせました。

普段は遠いものに感じている政治や議会といったものが、自分の気になることや村をもっと良くしていきたいという思いを質問することにより、とても身近に感じることができました。移住前は大都市にしか暮らしたことのなかった私からすると、そもそもこんな風に模擬議会というものにカジュアルに参加できるということ自体が、小さなコミュニティに暮らすことの素晴らしさのひとつでもあるなあと感じています。今回は「女性」模擬議会でしたので女性のみの参加でしたが、子ども模擬議会やヤングジェネレーション模擬議会など、多様な村民がもっともっと政治を身近に感じられる企画を今後も期待しています。

#### 《埴生 穂香さん》

- ・傍聴席で聴いていた方に園のお迎え時遭遇して「とても良かった」と感想をもらえて嬉しかった。
- ・4月フレミズの新役員宛に、模擬議会の話が下りてきたとき、この話を無かったことにしなくてよかったと安堵した気持ち。私が興味を持って声を上げたら武石さんが反応してくれて、武石さんと三村さんの人脈で人が集まり、そうしたら藤田さんが素敵なポスターを作ってくれて、繋がって広がっていく様子に静かに感動していた。
- ・5月に模擬議会説明を受けたときは、原稿を形式的に読み上げるだけという話だったのが、話が進んでいくと短期間で自分の質問原稿や決議文を用意する必要が出てきて、負担が大きく感じた。会社勤務のため突発的な招集に対応できず、LINE でのやりとりがメインになり、決議案に関しては理解できていなかった。

今後も活動を考えるなら、前回模擬議会の資料やその時の様子が分かる映像など早めに参加者に確認をとった方がよいと思った。

やってくれそうな人を選定して直接声を掛けていかなければ中々集まらなと、今回のことで感じた。

- ・議会での発言で、本当に変えてほしいことは色々な角度で検討してもらえるように、粘り強く何度も質問し続けなければならないのだと感じた。代理で預かた質問ならなおさら、本当にその人の立場に立てていないと「言ってみたけど断られました」で終わってしまいそう。
- ・達成感があって日常の中の刺激になり、本番が一番楽しかった。

#### 《佐々木 夕子さん》

議会というものを初めて生で見ました。再質問から空気が変わり、台本なしの答弁の応酬はスリルがありました。

今回、子ども達を連れて行きましたが生の政治の場がどういうものであったか肌で感じられる貴重な体験となりました。

今まで村政に対して受け身だったのが、自分達が声を上げなければ変わらないということを学びました。老いも若きも女性も男性も、みんなが生きやすい社会になるように、自分がしてきた苦労は子どもたちに背負わせないようにしていきたいなと思いました。

#### 《ヴァレンティーナ・ダニエルセンさん》

女性模擬議会に参加しない?とお声かけて頂いた時に、緊張感と共に好奇心が湧いてきました。 私自身は大潟村に来てからまだ一年も経っていませんが、村民の皆様の「助け合う」「皆一緒に楽し く暮らす」という気持ちがよく伝わっていますから、今回の模擬議会という経験も通して、大潟村に 来て良かったとずっと思っています。

「模擬」だと言うことにも関わらず、打ち合わせから本番まで参加した女性の皆様はご自身の大潟村への愛を込めて、村のために様々な課題を述べて、それを生で体験できて非常に嬉しかったです。 皆様の情熱を感じると、これからの大潟村を想像するだけでワクワクです。





# **畑**域の女性リーダー応援講座を開催します!

どなたでも参加できますので、お気軽にお申し込みください。 お電話又は2次元コードからお申し込みできます。

「申込み・問い合わせ先〕福祉保健課 TFI 0185-45-2114

## ①女性リーダーが地域を変える!

- [日 時] 令和5年11月7日(火) 13:00~15:00
- 〔講 師〕麓 幸子 氏(元日経ウーマン編集長)
- 〔会 場〕 大潟村役場 2階 第1会議室



サテライト会場

## ②災害から地域を守るために

~女性の視点、多様な視点で取り組む防災・減災~

- [日 時] 令和5年11月22日(水) 13:00~15:00
- 〔講師〕宗片恵美子氏(特定非営利法人イコールネット仙台)
- 〔会 場〕 大潟村役場 2階 第1会議室 (配信会場:秋田県中央男女共同参画センター) ※役場会議室にてオンラインで視聴します。



ジェンダーや男女共同参画社会について、理解の参考となるおすすめの本を紹介します。

書名	編著者	出版社
生まれつき男社会に服従 する女はいない	マノン・ガルシア	みすず書房
フェミニズムの政治学	岡野 八代	みすず書房
ジェンダー格差	牧野 百恵	中公新書
女のいない民主主義	前川 健太郎	岩波新書
女性学への招待	井上 輝子	有斐閣選書
首長たちの挑戦	女政のえん	世織書房
ある奴隷少女に起こった 出来事	ハリエット・アン・ジェイコブス	大和書房

【お問い合わせ先】

大潟村 福祉保健課 福祉班 TEL: 0185-45-2114 FAX: 0185-45-2162